

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月19日

上場取引所 東

上場会社名 アルインコ株式会社

コード番号 5933

URL <https://www.alinco.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小山 勝弘

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)小林 宣夫 (TEL)06-7636-2222

四半期報告書提出予定日 2019年8月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有(個人向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年3月21日~2019年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,681	6.9	807	12.2	839	4.2	478	4.5
2019年3月期第1四半期	12,801	7.6	719	11.3	806	8.0	457	2.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 473百万円(1.3%) 2019年3月期第1四半期 467百万円(43.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益		EBITDA	
	円	銭	円	銭	百万円	%
2020年3月期第1四半期	24	13	—	—	1,670	5.8
2019年3月期第1四半期	22	31	—	—	1,579	12.9

(注) EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却額

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2020年3月期第1四半期	百万円 56,221	百万円 26,441	% 45.5	円 銭 1,292 38
2019年3月期	53,940	26,359	47.4	1,290 61

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 25,603百万円 2019年3月期 25,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 18 00	円 銭 —	円 銭 19 00	円 銭 37 00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	19 00	—	19 00	38 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年3月21日~2020年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,740	5.9	1,530	11.9	1,680	1.3	1,010	1.7	50 98
通期	56,700	5.3	3,120	6.8	3,350	1.3	1,990	5.2	100 45

(参考) EBITDA 2020年3月期予想: 7,303百万円(5.6%)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	21,039,326株	2019年3月期	21,039,326株
2020年3月期1Q	1,228,481株	2019年3月期	1,228,481株
2020年3月期1Q	19,810,845株	2019年3月期1Q	20,510,846株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）追加情報	9
（5）セグメント情報等	9
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化が懸念されるなど、世界経済の動向や金融・財政政策に関する不確実性の高まりによって、景気の先行きには不透明感が増しています。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピック関連の建設工事が終盤に差し掛かる一方で、老朽化した社会インフラの改修・整備や首都圏並びに主要都市における再開発案件などにより、政府建設投資・民間建設投資ともに堅調に推移し、好調な経営環境を維持しています。

このような状況のなか、売上高は前年同期比6.9%増の136億81百万円となりました。利益面では、売上高の増加によって、営業利益は前年同期比12.2%増の8億7百万円、経常利益は前年同期比4.2%増の8億39百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4.5%増の4億78百万円となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

セグメントの名称	売上高		セグメント利益又は損失(△)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
建設機材関連事業	5,058	14.1	650	25.1
レンタル関連事業	4,126	△3.9	138	8.1
住宅機器関連事業	3,674	13.8	63	△37.8
電子機器関連事業	821	△3.0	△39	—
報告セグメント計	13,681	6.9	813	10.2
調整額	—	—	26	—
四半期連結損益計算書計上額	13,681	6.9	839	4.2

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資利益、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

建設機材関連事業

当事業の売上高は、前年同期比14.1%増の50億58百万円となりました。建設用仮設機材の販売が新型足場「アルバトロス」を中心に期初から好調に推移し、今後もさらなる販売増が期待できる状況にあります。また、子会社の双福鋼器㈱の売上高も物流関連の自動倉庫向けラックの販売が好調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によってセグメント利益は前年同期比25.1%増の6億50百万円となりました。

レンタル関連事業

当事業の売上高は、前年同期比3.9%減の41億26百万円となりました。低層向けレンタルにおいてここ数年注力してきた非住宅分野での売上高が拡大するとともに、中高層用レンタルにおいては新型足場「アルバトロス」を中心に期初から高稼働が継続したものの、レンタル機材の販売やコンサートなどのイベント関連向けレンタルが減少しました。

損益面では、レンタル資産の稼働率が期初から好調に推移したことなどから、セグメント利益は前期比8.1%増の1億38百万円となりました。

住宅機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比13.8%増の36億74百万円となりました。前期に子会社化した昭和ブリッジ販売㈱の売上高が寄与したほか、アルミ製品の販売がホームセンターなどの量販店向けや機械工具ルート向けで増加しました。またフィットネス機器は、マッサージ関連の新商品が量販店や家電販売店を中心に好調であったほか、電動ランナーやジョギングマシンの販売も通販やネット販売で好調に推移しました。

損益面では、前年同期に比べて為替差益が減少したことなどから、セグメント利益は前期比37.8%減の63百万円となりました。

電子機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比3.0%減の8億21百万円となりました。当期に繰り延べとなっていた防災行政無線の受注案件は当第3四半期から納入が開始される見込みとなりましたが、当第1四半期においては企業の設備投資が弱含んだ影響によって特定小電力無線機や業務用無線機の販売が伸び悩みました。

損益面では、売上高の減少によって、セグメント損失が39百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は562億21百万円となり、前期末に比べ22億81百万円増加しました。総資産の内訳は、流動資産が330億81百万円（前期末比19億44百万円増）、固定資産が231億40百万円（前期末比3億37百万円増）であります。総資産の主な増加要因は、現金及び預金の増加（前期末比16億49百万円増）、たな卸資産の増加（前期末比5億94百万円増）であります。

負債は、297億80百万円となり、前期末に比べ21億99百万円増加しました。その内訳は、流動負債が174億18百万円（前期末比12億94百万円増）、固定負債が123億62百万円（前期末比9億4百万円増）であります。負債の主な増加要因は、借入金の増加（前期末比17億94百万円増）であります。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が4億78百万円となったことや、剰余金の配当を3億76百万円実施したことなどにより、264億41百万円（前期末比82百万円増）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、2019年5月8日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,379,347	6,028,712
受取手形及び売掛金	15,848,616	15,642,244
商品及び製品	7,027,023	7,465,420
仕掛品	1,062,049	1,116,575
原材料	2,047,987	2,149,333
その他	788,512	697,572
貸倒引当金	△15,727	△17,981
流動資産合計	31,137,809	33,081,877
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産	24,674,029	25,325,262
減価償却累計額	△19,940,274	△20,348,824
減損損失累計額	△112,774	△116,257
レンタル資産（純額）	4,620,980	4,860,180
建物及び構築物	10,932,055	10,995,572
減価償却累計額	△6,829,489	△6,943,364
建物及び構築物（純額）	4,102,566	4,052,208
機械装置及び運搬具	4,773,642	4,852,511
減価償却累計額	△3,478,591	△3,556,145
機械装置及び運搬具（純額）	1,295,051	1,296,365
土地	4,852,800	4,872,038
その他	3,458,614	3,458,968
減価償却累計額	△3,109,692	△3,084,508
減損損失累計額	△27,825	△27,825
その他（純額）	321,097	346,634
有形固定資産合計	15,192,495	15,427,427
無形固定資産		
のれん	1,208,357	1,140,557
その他	174,028	190,203
無形固定資産合計	1,382,386	1,330,761
投資その他の資産		
投資有価証券	2,164,737	2,031,684
長期貸付金	824,127	1,170,771
退職給付に係る資産	2,076,566	2,036,066
繰延税金資産	185,142	169,559
その他	980,082	976,909
貸倒引当金	△3,150	△3,150
投資その他の資産合計	6,227,506	6,381,841
固定資産合計	22,802,387	23,140,031
資産合計	53,940,197	56,221,909

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,225,439	8,767,972
短期借入金	554,150	925,700
1年内返済予定の長期借入金	4,435,642	4,803,892
未払法人税等	757,785	368,240
賞与引当金	684,794	370,525
その他	1,465,427	2,181,727
流動負債合計	16,123,240	17,418,056
固定負債		
長期借入金	10,238,526	11,293,678
退職給付に係る負債	200,810	192,469
役員退職慰労引当金	186,336	186,336
繰延税金負債	438,483	302,763
その他	393,378	387,052
固定負債合計	11,457,535	12,362,298
負債合計	27,580,775	29,780,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,361,596	6,361,596
資本剰余金	4,812,424	4,812,424
利益剰余金	14,704,990	14,806,606
自己株式	△909,615	△909,615
株主資本合計	24,969,396	25,071,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328,887	234,986
繰延ヘッジ損益	13,078	△19,631
為替換算調整勘定	214,786	324,104
退職給付に係る調整累計額	41,871	△7,383
その他の包括利益累計額合計	598,623	532,076
非支配株主持分	791,401	838,464
純資産合計	26,359,422	26,441,553
負債純資産合計	53,940,197	56,221,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年6月20日)
売上高	12,801,448	13,681,101
売上原価	9,224,379	9,874,336
売上総利益	3,577,069	3,806,764
販売費及び一般管理費	2,857,299	2,999,458
営業利益	719,769	807,306
営業外収益		
受取利息	5,889	12,137
受取配当金	27,366	54,835
受取地代家賃	15,180	14,667
為替差益	3,119	-
作業屑等売却益	31,415	22,925
持分法による投資利益	-	7,745
その他	36,478	28,084
営業外収益合計	119,449	140,396
営業外費用		
支払利息	14,781	12,481
支払地代家賃	6,115	6,115
為替差損	-	82,473
持分法による投資損失	7,389	-
その他	4,856	6,977
営業外費用合計	33,143	108,048
経常利益	806,075	839,654
特別利益		
有形固定資産売却益	1,217	599
特別利益合計	1,217	599
特別損失		
有形固定資産除売却損	243	654
災害による損失	17,290	-
特別損失合計	17,534	654
税金等調整前四半期純利益	789,758	839,598
法人税、住民税及び事業税	419,655	357,929
法人税等調整額	△113,994	△46,014
法人税等合計	305,661	311,914
四半期純利益	484,097	527,684
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,450	49,662
親会社株主に帰属する四半期純利益	457,646	478,022

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年6月20日)
四半期純利益	484,097	527,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,619	△93,900
繰延ヘッジ損益	137,902	△32,709
為替換算調整勘定	△115,168	131,539
退職給付に係る調整額	△17,426	△49,255
持分法適用会社に対する持分相当額	439	△10,012
その他の包括利益合計	△16,871	△54,338
四半期包括利益	467,225	473,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	439,013	411,474
非支配株主に係る四半期包括利益	28,212	61,871

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年3月21日 至 2018年6月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,433,740	4,292,410	3,228,055	847,242	12,801,448	—	12,801,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,029,044	4,045	56,437	7,779	1,097,307	△1,097,307	—
計	5,462,785	4,296,456	3,284,493	855,021	13,898,756	△1,097,307	12,801,448
セグメント利益又は損失（△）	520,215	128,070	102,082	△11,983	738,384	67,691	806,075

（注）1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額67,691千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに
 帰属しない持分法による投資損失、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年3月21日 至 2019年6月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,058,110	4,126,602	3,674,503	821,884	13,681,101	—	13,681,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	780,331	525	19,939	9,198	809,995	△809,995	—
計	5,838,442	4,127,127	3,694,443	831,083	14,491,096	△809,995	13,681,101
セグメント利益又は損失（△）	650,851	138,381	63,544	△39,186	813,591	26,063	839,654

（注）1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額26,063千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに
 帰属しない持分法による投資利益、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。